



授業デザインミーティング実施

今年度2回目の全校縦割りでの授業デザインミーティングを行いました。今回は、未来へのスケッチの活用状況や児童生徒の思いや願いを基にどのような実践をしてきたのか、児童生徒の変容や授業評価、今後の見通し、授業内容の検討などについてそれぞれの縦割りグループで話し合いました。今回は9月に授業を控えている中学部保健体育と小学部生活単元学習の授業についてお伝えします。

中学部 保健体育 取組の様子について

夏休みまでの取組

- 運動会に向けて
優勝を目指して、どの競技も全力で取り組んでいた。勝ち負けに対するこだわりが強く、負けた際に勝った友達に対する暴言が2、3日続いた。
- 水泳
学年ごとに2回ずつ実施した。2回目は水に慣れ、自分から水に入ったり、水の中で時間いっぱい活動したりする生徒が多くいた。
- 体力トレーニング
主にランニング、サーキット運動、ダンスに取り組んだ。記録の更新を目指して取り組む生徒も多いが、ランニング中に私語や友達にちょっかいを出す姿も見られた。
- 体力テスト
昨年度の記録と比べて、自分の成長を感じたり、よい記録を出すためのアドバイスを求めたりするなど意欲的に参加する姿が多く見られた。しかし、友達の記録を気にしすぎる姿も見られた。

<ジャムボードによる話し合いから>

教材教具

扇形の振り幅が目見てわかる補助具

話し合い、アドバイスの場面設定

評価について

評価の雛形

友達のいい所探し

トータルスコアの変容といい言葉がけの吹出しを視覚的に提示する

上手いかなかった時、気持ちを代弁して言語化する。

技術

ボールが当たる箇所に印付ける

試合実戦 自分の課題発見

ポイントを大きくしぼる

褒めシャワー

やる気の素

フェアプレイ賞

やる気アップのポイントは何？

どんな言葉で表現したらいいか丁寧に具体的に教える

ナイス、ドンマイなど応援の声も教える

授業に生かせそうなアイデアのまとめ

- グラウンドゴルフの上達のポイントを3つ提示する。
(構え方、振り方、どこを見るか)
- 生徒同士がお互いによりプレーや、よかったところに気付いたり、評価したりできるようにグッドカードを準備し、即時評価する。
- ロングホール、ショートホールなど本番を想定したゲーム形式の場面も取り入れる。



夏休みまでの取組

- ・児童同士の関わり合いが増えるよう、制作活動や鶴舞小交流準備活動などで、ペアやグループでの活動を意図的に設定した。
- ・児童が困った友達に気付いて自分から言葉掛けできるよう、「どうしたの?」「手伝おうか?」などのせりふのイラストを掲示した。

児童生徒の変容

- ・校外学習、修学旅行の学習では、仲間意識を高くもち、意欲的に活動に取り組んだ。その他の学習でも周りの友達を参考にすることが増え、活動への見通しをもち、落ち着いて取り組むことが増えた。
- ・掃除で、以前は自分の机を優先的に運んでいたが、自然な流れで友達の机を運ぶ様子が見られたり、遅れている友達の掃除を手伝ったりする姿が見られた。
- ・友達への関わり方についての例の掲示物を参考に、「どうしたの?」「手伝おうか」と友達に話し掛ける場面が見られた。

< 指導案検討の話合いから >

< 授業について >

- ・5年生に教えるのは、修学旅行で自分たちが体験し、楽しかったわんこそばの「やり方、楽しさ」を伝えたい。「ごっこ遊び」という表記は使いたくないが、疑似体験で授業者の意図が伝わるか。
- 児童の実態も考えると、本物のそばを使わず「遊び」の要素を入れることはいいと思う。食べると勘違いする人もいると思うので、指導に当たっての箇所に入れ込めればよいか。

- ・単元で目指す姿は3つある。①自分の役に最後まで取り組む、②友達に教えたり、助けたりする、③友達と一緒に仲良く活動するがあり、人によって異なる。
- 全体のめあては提示しているが、個々のめあてはどうするのか。
- ・全体のめあてをしっかりと聞いてほしいため、個々のめあては確認しない。実態に応じて、個々のめあても必要であれば提示する。

- 「協力」するのは準備・後片付けのところだけなのか。わんこそばをする場面で協力はないのか?
- ・わんこそばを教える場面では、店員役をやるときに協力する場面があると思う。役割を最後まで果たすがメインになると考える。準備、後片付けの場面で言葉を掛け合う姿が見られることを期待している。

< めあてについて >

- 当日のめあては、はっきり決まっていないのか。
- ・現段階では、迷っている。チームアップのポイントを黒板に掲示し、そこから毎回、今日のポイントを1つずつ選んでクリアし、花丸を増やしていこうと考えている。しかし、一度ポイントをクリアしたら毎回クリアしているとは限らないように思うため、検討したい。

授業に生かせそうなアイデアのまとめ

- ・準備、片付け（エプロンを着ける、身だしなみチェック、道具を用意）などで児童同士で言葉を掛け合う場面を大切にする。
- ・今日のチームアップのポイントを児童に具体的に提示する。また、視覚的に分かりやすいアプリなども使えるようであれば使いたい。
- ・振り返りのために動画を活用し、一人一人の子どもに合わせて場面を捉えて撮影し、振り返りで動画を活用したい。

